

7月 感染委員会だより

特別養護老人ホーム オークッド 感染対策委員会

感染性胃腸炎が流行しています!!

兵庫県では、現在「感染性胃腸炎」の感染が1位を占めています。一時期および患者数は減少傾向ではありますが、注意が必要です。

＜症状＞ 37~38℃程度の発熱・嘔吐・下痢・腹痛

夏に流行する感染性胃腸炎の多くは「細菌性」。さらに感染して比較的早期に症状が出る「毒素型」・発熱してから症状が出る「感染型」に分類されます。

＜主な菌は??＞ 

ウェルシュ菌：最近テレビやネットニュースでも話題ですね。シチューやカレーなどの作り置きが原因になることが多い。作った後、鍋で常温放置はNG!!

カレーなどに小分けにして保冷剤等で冷まして早めに10℃以下の冷蔵庫へ!!

常温で増えたウェルシュ菌はその後たとえ加熱しても死滅しきれず「食中毒」が起きます。

黄色ブドウ球菌：調理する人の傷などから食品に混入し、増殖し毒素を産生。発症までは平均3時間と早い。

食中毒の予防は「つけない」「増やさない」「やっつける」

普段から手洗い・うがいをしっかり行い、体調管理をしましょう。

体調不良者（職員も利用者様も）の早期発見・報告をしっかりと行い、施設の感染対策を職員全員で行っていきましょう。

夏に流行する感染症は他にどんなものがあるの？

子どもも大人も要注意!! 「たかが夏風邪」が重大な合併症を起こすことがあります! 夏場は、「咽頭結膜熱（プール熱）」「手足口病」「ヘルパンギーナ」等、子供を中心に流行します。外から帰ったら手洗い・うがい。風邪が流行している時にはマスク着用、バランスの取れた食事を心がけ、十分な睡眠をとり体調管理に努めましょう。

高齢者は体調をくずすと「食べたくない」「飲みたいくない」と脱水がすすみ命に関わります。オークッドおんぽで利用者様と元気に楽しく夏をのりこえましょう!!

